

2003年度 情報検索応用能力試験

2級 試験問題（後半）

注意事項

- 1 . 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
- 2 . 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
- 3 . 解答時間は、15 : 15 ~ 16 : 15 の60 分間です。
- 4 . 中途退席はできません。
- 5 . 問題は3問、3ページ、解答用紙は3 ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
- 6 . 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
（解答用紙裏面への記入は無効です。）
- 7 . 問題の内容に関する質問は一切できません。
- 8 . 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問13 調査の依頼を受けた際に、依頼者が調査目的や内容、キーワード等について、多くを語らない場合がある。より具体的な情報を依頼者から引き出すためにどのような点に気がつけたらよいかを述べなさい。

ただし、解答には以下のポイントを含めること。

プレサーチインタビューにおいて確認する事柄

多くを語らない場合の具体例を3つ以上挙げなさい。

問14 テレビCMなどでも有名な企業について、ある国内企業情報データベースを検索したところ全くヒットしなかった。考えられる理由を思いつく限り述べなさい。

問15 以下の6問から1問を選択して、問題文にしたがって解答しなさい。

1. あるテーマについて専門書誌を作成するものとする。任意にテーマをひとつ決め、作成手順を述べなさい。ただし、解答には以下のポイントを含めること。

- テーマに適した調査範囲
- 使用ツールとその選択理由
- 具体的な調査方法と留意点

2. 以下の検索エンジンについて、検索エンジンとしての機能や特徴の違いを簡潔に説明しなさい。またレファレンスツールとしてどのように使い分けたらよいか、想定される具体的な事例を交えながら述べなさい。

1. goo
2. All About Japan
3. Infoseek サーチプラス
4. メッチャ検索エンジン

3. A大学とB大学それぞれの産学連携の活動について、各々どの程度マスコミに取り上げられているかを比較したい。その調査の要点と方法と説明しなさい。

4. 金沢大学医学部附属病院の渡邊剛氏の論文を網羅的に集めたい。調査の手順について順を追って述べなさい。ただし、解答には以下のポイントを含めること。

- 使用したツール（商用データベースに限らないが具体的な名称を述べること。複数使用可能。）
- そのツールを選択した理由
- 具体的な調査方法と注意点

5. 以下の調査テーマの検索において、DWPI (Derwent World Patents Index)、INPADOC を利用する場合のメリット、デメリットに関して、利用するオンライン検索システム名を記載の上、と の相互の比較、問題点やその解決法を交えて解答欄に述べなさい。

調査テーマ：日本の著名なメーカー A 社の技術内容調査を1980年以降の年代で、世界を対象に調査する。

6. 以下の物質の合成法を調査したい。これに関する設問(1)～(2)に答えなさい。

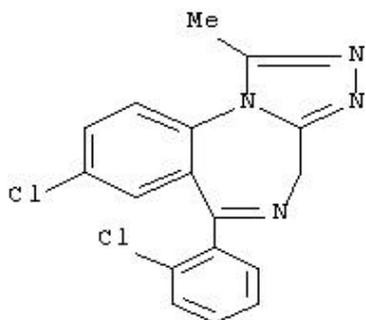
ただし、化学構造の作図による構造検索は行わないものとする。また、解答には以下のポイントを含めること。

使用したツール(商用データベースに限らないが具体的な名称を述べること。

複数使用可能。)

そのツールを選択した理由

具体的な検索手順と注意点



- (1) 構造のみ分かっている物質の名称や CAS 登録番号を調べる際の最も的確で漏れない検索方法を述べなさい。

- (2) 物質の名称や CAS 登録番号から合成法を検索する方法を述べなさい。